



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋 上場取引所 東
 コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 椋本 充士
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・グループ統括室担当執行役員 (氏名) 井坂 匡伸 TEL 06-6683-1222
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	34,421	6.0	853	△33.7	949	△28.7	481	△40.9
2025年3月期第3四半期	32,472	15.4	1,287	118.6	1,330	141.5	813	△23.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 539百万円 (△34.3%) 2025年3月期第3四半期 822百万円 (△17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	21.04	—
2025年3月期第3四半期	35.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	34,004	9,793	28.2
2025年3月期	31,457	9,412	29.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 9,598百万円 2025年3月期 9,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,100	4.8	730	△22.9	820	△12.6	360	△44.5	15.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	22,910,275株	2025年3月期	22,910,275株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	36,250株	2025年3月期	36,250株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	22,874,025株	2025年3月期3Q	22,874,025株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などを背景に景気は緩やかな回復が続いております。しかしながら、米国の政策動向や、為替相場の不安定な推移、地政学的リスクに起因するエネルギー資源や原材料価格などの高騰もあり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、インバウンド需要は引き続き堅調であるものの、原材料の価格高騰、光熱費等様々なコストの上昇、人手不足による人件費の増加が継続しており、事業を取り巻く経営環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループは、2025年5月に2030年3月期を最終期とする5ヶ年の「中期経営計画」を公表し、グループビジョン「おもてなしで付加価値の創造を紡ぐ」を掲げ、将来にわたって持続的に成長する企業グループであることを目指して、グループ一丸となって事業収益の最大化を図るため、戦略構築と実行を徹底し、企業風土の変革を希求し続けてまいりました。また、1970年の大阪万博以降に拡大する外食産業を中心に成長してきた当社グループとして、今回の大阪・関西万博に積極的に参加し、祖業とも言える手打ちうどんや創業の地である大阪の食文化を支える全国の産地の食材等の魅力を伝えてまいりました。これにより、大阪・関西万博に関連する費用を販売費及び一般管理費に計上しておりますが、外食産業だけでなく幅広くフードビジネスを展開する企業グループとしての認知度を高め、新たなビジネスチャンスやパートナーを探索しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高344億21百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益8億53百万円（前年同期比33.7%減）、経常利益9億49百万円（前年同期比28.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億81百万円（前年同期比40.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

なお、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較においては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(レストラン事業)

レストラン事業においては、収益性向上を重視した方針のもと、ピーク時間帯の効率化やオペレーション改善による回転率の向上、原材料価格高騰への対応として「杵屋」「井井亭」などのメニュー及び価格の改定等に取り組むことにより、売上高の増加及びコスト削減を推進してまいりました。しかしながら、米をはじめとする原材料価格の高騰や人手不足による人件費の上昇は想定以上のものであり、利益を圧迫する結果となりました。

店舗の出退店等につきましては、新店は和食部門の「大阪木津市場 天はな」1店舗、そば部門の「そじ坊」1店舗の合計2店舗であります。業態変更は1店舗、退店は15店舗であります。この結果、当第3四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、34都道府県に362店舗（フランチャイズ店舗87店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は184億90百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益2億78百万円（前年同期比54.0%減）となりました。

(ODM・OEM事業)

ODM・OEM事業においては、国際線の増便が見込まれる関西国際空港の機内食需要に応えるべく、また、業界有数の地位を占める冷凍おせちの製造に加えて、働く世代向けの冷凍宅配弁当市場のODM事業の拡大のために、生産体制の改善と更なる効率化に取り組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、機内食の搭載食数が増加するとともに、冷凍弁当及び冷凍おせちの受注が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、ODM・OEM事業の売上高は122億35百万円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益9億24百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、大阪木津卸売市場の入居率は堅調に推移しているものの、市場に隣接する飲食店向け区画をなわ筋線建設工事に伴い順次閉鎖していることに加え、地価高騰に伴う固定資産税の上昇等のコスト増加により減収減益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は5億21百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益2億7百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

(運輸事業)

12月24日に鉄道事業が開業100周年を迎えた水間鉄道(株)においては、昨年度実施の運賃改定が通期で反映されたことや各種イベント実施等の効果により旅客運賃収益が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は3億59百万円(前年同期比9.8%増)、セグメント損失31百万円(前年同期は41百万円の損失)となりました。

(その他)

大阪木津卸売市場で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が減少したことから減収減益となりました。日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は、精米及び炊飯の販売数量が大幅に増加したことにより増収増益となりました。

以上の結果、その他の売上高は28億14百万円(前年同期比39.4%増)、セグメント損失38百万円(前年同期は30百万円の損失)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は121億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億66百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金2億96百万円の減少、売掛金26億10百万円の増加、原材料及び貯蔵品2億89百万円の増加によるものであります。固定資産は219億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億19百万円減少いたしました。これは主に機械装置及び運搬具1億33百万円の増加、建設仮勘定97百万円の減少、長期貸付金85百万円の減少、差入保証金73百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、340億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億46百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は111億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億82百万円増加いたしました。これは主に買掛金2億46百万円の増加、短期借入金26億円の増加、未払法人税等3億44百万円の増加によるものであります。固定負債は130億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億17百万円減少いたしました。これは主に長期借入金9億69百万円の減少、資産除去債務35百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、242億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億65百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は97億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億81百万円増加いたしました。これは主に配当金の支払い1億60百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益4億81百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は28.2%(前連結会計年度末は29.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日に発表しました連結業績予想の数値から変更を行っております。詳細は別途本日開示いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,070,733	4,774,611
預け金	442,524	467,256
売掛金	2,431,480	5,042,409
商品及び製品	375,673	328,585
原材料及び貯蔵品	441,692	731,132
短期貸付金	115,716	211,551
未収入金	261,488	127,662
未収消費税等	85,991	102,926
その他	212,812	318,942
貸倒引当金	△1,234	△2,134
流動資産合計	9,436,877	12,102,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,820,921	28,885,329
減価償却累計額	△22,142,314	△22,257,263
建物及び構築物(純額)	6,678,606	6,628,066
機械装置及び運搬具	3,547,723	3,745,657
減価償却累計額	△2,648,033	△2,712,616
機械装置及び運搬具(純額)	899,690	1,033,041
工具、器具及び備品	2,117,609	2,124,559
減価償却累計額	△1,674,761	△1,641,797
工具、器具及び備品(純額)	442,848	482,762
土地	7,726,211	7,726,211
建設仮勘定	127,909	30,190
有形固定資産合計	15,875,266	15,900,272
無形固定資産		
のれん	141,616	107,168
その他	124,766	117,684
無形固定資産合計	266,382	224,853
投資その他の資産		
投資有価証券	914,834	970,003
長期貸付金	245,717	160,526
差入保証金	4,316,088	4,242,509
繰延税金資産	340,659	342,412
その他	80,667	80,381
貸倒引当金	△18,565	△19,603
投資その他の資産合計	5,879,402	5,776,230
固定資産合計	22,021,050	21,901,356
資産合計	31,457,928	34,004,301

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,434,014	1,680,713
短期借入金	1,200,000	3,800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,262,030	2,317,896
未払金	563,326	426,271
未払費用	1,505,323	1,596,188
未払法人税等	66,712	411,445
未払消費税等	222,791	209,423
賞与引当金	167,062	93,416
資産除去債務	136,283	156,400
その他	433,215	481,678
流動負債合計	7,990,760	11,173,433
固定負債		
長期借入金	10,483,197	9,513,791
長期未払金	9,738	9,738
繰延税金負債	1,058,430	1,057,987
退職給付に係る負債	86,242	85,120
資産除去債務	1,678,168	1,643,055
その他	738,844	727,560
固定負債合計	14,054,620	13,037,252
負債合計	22,045,381	24,210,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,345,288	8,345,288
利益剰余金	694,179	1,015,485
自己株式	△35,493	△35,493
株主資本合計	9,103,974	9,425,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,952	88,284
為替換算調整勘定	39,903	81,635
退職給付に係る調整累計額	3,683	3,446
その他の包括利益累計額合計	142,539	173,366
非支配株主持分	166,033	194,968
純資産合計	9,412,547	9,793,614
負債純資産合計	31,457,928	34,004,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	32,472,709	34,421,456
売上原価	20,776,402	22,523,278
売上総利益	11,696,306	11,898,178
販売費及び一般管理費	10,408,730	11,044,642
営業利益	1,287,576	853,535
営業外収益		
受取利息	4,810	14,990
受取配当金	51,033	44,894
賃貸料収入	125,461	133,042
その他	66,634	108,331
営業外収益合計	247,939	301,259
営業外費用		
支払利息	134,518	136,759
借入手数料	1,000	1,000
賃貸費用	66,434	67,023
その他	3,077	827
営業外費用合計	205,029	205,610
経常利益	1,330,485	949,184
特別利益		
固定資産売却益	559	3,850
保険差益	-	100,004
投資有価証券売却益	-	7,555
助成金収入	4,846	-
特別利益合計	5,406	111,410
特別損失		
固定資産除却損	7,690	40,305
固定資産売却損	612	-
減損損失	88,309	54,902
投資有価証券評価損	847	-
退店違約金	900	9,905
特別損失合計	98,358	105,113
税金等調整前四半期純利益	1,237,533	955,481
法人税等	417,163	462,560
四半期純利益	820,369	492,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,427	11,497
親会社株主に帰属する四半期純利益	813,941	481,423

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	820,369	492,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,228	△16,072
為替換算調整勘定	43,672	62,941
退職給付に係る調整額	327	△237
持分法適用会社に対する持分相当額	-	190
その他の包括利益合計	1,770	46,822
四半期包括利益	822,139	539,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	804,658	510,906
非支配株主に係る四半期包括利益	17,481	28,837

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	790,370千円	776,783千円
のれんの償却額	44,201千円	34,447千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	ODM・ OEM事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高									
一時点で移転される 財	18,714,431	10,885,916	-	178,094	29,778,442	2,019,775	31,798,218	-	31,798,218
一定の期間にわたり 移転される財	-	-	-	148,928	148,928	-	148,928	-	148,928
顧客との契約から生 じる収益	18,714,431	10,885,916	-	327,023	29,927,370	2,019,775	31,947,146	-	31,947,146
その他の収益 (注) 4	-	-	525,562	-	525,562	-	525,562	-	525,562
外部顧客に対する売 上高	18,714,431	10,885,916	525,562	327,023	30,452,933	2,019,775	32,472,709	-	32,472,709
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	157,231	-	30,918	188,150	682,001	870,151	△870,151	-
計	18,714,431	11,043,147	525,562	357,941	30,641,083	2,701,777	33,342,860	△870,151	32,472,709
セグメント利益又は 損失(△)	605,565	757,123	226,529	△41,247	1,547,971	△30,158	1,517,813	△230,236	1,287,576

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△230,236千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	ODM・ OEM事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高									
一時点で移転される 財	18,490,696	12,235,352	-	201,897	30,927,945	2,768,341	33,696,287	-	33,696,287
一定の期間にわたり 移転される財	-	-	-	157,220	157,220	46,515	203,735	-	203,735
顧客との契約から生 じる収益	18,490,696	12,235,352	-	359,117	31,085,166	2,814,856	33,900,022	-	33,900,022
その他の収益 (注) 4	-	-	521,434	-	521,434	-	521,434	-	521,434
外部顧客に対する売 上高	18,490,696	12,235,352	521,434	359,117	31,606,600	2,814,856	34,421,456	-	34,421,456
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	151,235	-	23,930	175,166	733,684	908,850	△908,850	-
計	18,490,696	12,386,587	521,434	383,047	31,781,766	3,548,541	35,330,307	△908,850	34,421,456
セグメント利益又は 損失(△)	278,789	924,128	207,620	△31,782	1,378,755	△38,641	1,340,113	△486,577	853,535

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△486,577千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「機内食事業」と「業務用冷凍食品製造事業」の2つに区分していた報告セグメントを、当第3四半期連結会計期間より統合することとし、新たな報告セグメントの名称を「ODM・OEM事業」といたしました。これは、2026年3月期を初年度とする当社グループの「新中期経営計画」の策定にあたり、当社グループの事業展開、経営資源の配分及び経営管理体制の実態等の観点から「ODM・OEM事業戦略室」を新設する組織変更を行ったことに伴い、報告セグメントを変更することが適切であると判断したことによるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。